

正義を権力より護れ

— 児島惟謙歿後百年記念展 —



児島惟謙

平成20年度
関西大学年史資料展示室企画展

4月1日(火)開館 開館時間:午前10時~午後4時

■休館日:土曜・日曜・祝日 ※ただし、4月6日・5月18日は特別開館

関西大学年史編纂室

関西大学千里山キャンパス 簡文館
〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35 TEL.06-6368-1062(直通)

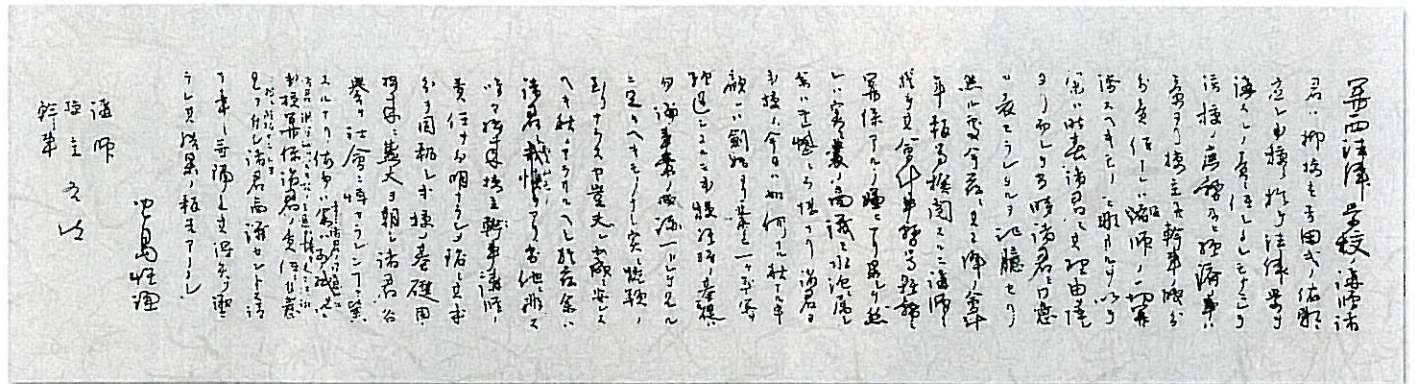
正義を権力より護れ

—児島惟謙歿後百年記念展—

児島惟謙（1837-1908）は、明治24年5月11日に滋賀県の天津で起こったロシア皇太子傷害事件、いわゆる「天津事件」の際に、ときの大審院長として司法権の独立を護ろうとしたことで、ひろく世に知られています。

これより先、明治19年秋に関西大学の前身である関西法律学校を設立するにあたり、児島惟謙は大阪控訴院長、名誉校員として力をつくすとともに、創立後も折にふれて指導や助言を惜しみませんでした。関西大学が、精神的支柱とするあまた先人のなかでも、殊のほか大きな存在としているのは、そうした所以によります。

本年7月1日は、児島惟謙が幽明境を異にしてちょうど100年になります。これを記念して年史資料展示室では「正義を権力より護れ」と題し、歿後100年の特別展を企画いたしました。この特別展示で、児島惟謙の人となりや、偉大なる業績を感じとっていただければ幸いです。



関西法律学校の講師、校主、幹事に宛てた児島惟謙の書簡



児島惟謙の胸像（簡文館前）

案内図

関西大学千里山キャンパス
阪急千里線「関大前」駅下車、徒歩10分

